

21099

研究番号： _____

皮下膿瘍の切開術の経験がある 患者さんまたはご家族の方へ (臨床研究に対するご協力のお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター皮膚科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはございません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

当科における過去6年間の皮下膿瘍36例の検討

【研究の背景と目的】

皮下膿瘍は多くの方に発症し、全身に生じ得る疾患です。治療は抗菌薬の投与のみで軽快する場合もありますが、膿が多量に貯留していると切開し、排膿の処置が必要となります。大きく切開が必要な例では入院での加療が必要となります。既往歴や発症部位から起炎菌の予測を立て、抗菌薬を選択しますが、薬剤耐性菌も多く検出されており、治療途中で抗菌薬の変更が必要となる症例もあります。また、膿瘍径の大きいもの場合は創傷治癒に時間を要し、感染が落ち着いた後に植皮などの手術が必要となる症例もあり、その際には当初予定した入院期間よりも延長する例もみられます。皮下膿瘍の患者さんの既往歴、血液検査結果、画像検査での膿瘍径、起炎菌、選択した抗菌薬、抗菌薬投与期間、治療方法、入院期間等を後ろ向きに調査することで、今後のよりの確な治療に結びつけることを目的とします。

【対象となる方】

2016年1月1日から2021年11月30日の間に当院皮膚科に入院で皮下膿瘍治療を受けた20歳以上の方

【使用する診療情報】

使用する診療情報は以下のとおりです。

カルテ情報：年齢、性別、身長、体重、臨床所見(発症部位)、既往歴、血液検査結果、
CT・MRI検査結果(膿瘍の大きさ)、起炎菌、選択した抗生剤、抗生剤投与期間、
退院後の既往歴の状況について

なお、収集したデータは研究責任者のもと適切に保管・管理いたします。

【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院2022年2月の臨床研究倫理審査委員会承認日から2022年12月31日まで実施され、約36名の患者さんが対象となっております。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。

また、使用したカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【結果の公表】

この研究の研究成果は 日本皮膚科学会関連の学会で発表予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。また皮膚科に関連する学術雑誌へ投稿される予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 皮膚科 片桐一元（教授）

【問い合わせ先】

埼玉県越谷市南越谷 2-1-50

獨協医科大学埼玉医療センター 皮膚科

電話番号：048-965-3554（皮膚科外来）

担当者：田中浩美（レジデント） PHS:1299

受付時間：平日 9:00-17:00

以上